

1. 研究活動

JIDA 中部ブロック平成 21 年度総会講演会 「21 世紀のスズキデザイン」	2009. 6. 6	主催：JIDA 中部ブロック 会場：浜松市可美公園総合センター、スズキ歴史館	JIDA 総会にあわせ、スズキ株式会社歴史館の見学および、スズキデザイン部部長の講演会を開催、これを実行委員として運営。
教員展	2009. 6. 11 ～6. 17	会場：名古屋芸術大学 A&D センター	1991 年発表の軽スポーツカー『カプチーノ』のスケッチ展示
第 4 回金の卵学生選抜オールスターショーケースへの学生作品展示、プレゼンテーションに参加	2009. 8. 27 ～9. 6	主催：アクシスギャラリー 会場：AXIS GALLERY	「社会を良くするデザイン」をテーマに 26 校 250 名のデザイン系大学プロダクトデザインコース学生による作品展。 これに、3 年生が実技授業で制作した作品を応募、選抜作品の展示とポートフォリオの展示を行い、全員が学外授業として参加した。
JIDA 中部ブロックセミナー 「カーデザインと私」 & 学生交流会	2009. 10. 10	主催：JIDA 中部ブロック 会場：椋山女子学園大学	◆藤本 彰氏カースタイリング編集長退任を記念して氏の講演会を開催、同時に学生交流会を開催し、この実行委員として運営に参加した。 また、これに ID コース学生のポートフォリオ展示を行った。
キッズデザイン展	2010. 2. 17 ～22	主催：名古屋市、(株)国際デザインセンター、中部デザイン団体協議会で構成する「デザイン事業推進委員会」、中部デザイン協会 (CDA)、(社)日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA) 中部ブロック 会場：ナディアパーク	◆2009 年度のデザイン啓発事業企画として、キッズデザインにかかる企画を開催。「キッズデザイン 2010 chapter II “プロダクトデザイン編”」としてデザイン展と親子を対象としたワークショップ開催。 これに実行委員として運営に参加、同時本学インダストリアルデザインコース学生の作品を展示。
卒業制作展訪問	2010. 1 ～ 3	会場：各大学卒業制作展会場 主催：日本インダストリアルデザイナー協会 中部ブロック	JIDA 企画委員としてイベントを主催。デザイン系大学、専門学校の卒業制作展を訪問、学生のプレゼンテーションを受け作品を評価。JIDA 賞を授与した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 製品企画論 A		プロダクトデザインにおける様々な仕事の種類を細かく説明し、今後の職種選択の参考となるよう講義を進めた。 講義形式は実際のメーカー内でのプレゼンテーションを模した形式で行い、リアリティーを持たせた。 また、カラーデザインについては自動車メーカーから現場のデザイナーを特別講師として依頼し、特別講義を開催した。
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイナーとしての経験を生かし、デザインの現場で何がどのように行われているのか、可能な限り最新の情報を元にリアルな講義を工夫した。	デザインの現場にできるだけ近似した内容のパワーポイントを毎回作成しこれを活用した講義	

授業科目 デザイン実技Ⅲ (PS1・PS2) ID		デザインイベントや講演会、展示会などできるだけ多くに学外授業として参加した。 1. ウェルフェアの見学 (ユニバーサルデザイン関連) 2. JIDA 次世代委員会学生プレゼンテーション、交流会参加 3. 『金の卵』展参加 4. 名古屋地区プロダクト系大学ワークショップ参加
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイン表現力の向上を第1目標とし、スケッチ、レンダリング、モデリングを、実際に手を動かしながら指導を行った。また特別客員教授奥山清行氏によるワークショップにも授業として全員参加した。	プロデザイナーのスケッチやイメージボードなどできるだけ現場での仕事が体感できるような資料、情報を提供した。	
授業科目 デザイン実技Ⅳ (PS1・PS2) ID		卒業制作につながるテーマの発見や、将来、現場での仕事を前提とした課題の進め方を行った。 デザインイベントや講演会、展示会などできるだけ多くに学外授業として参加。 1. ウェルフェアの見学 (ユニバーサルデザイン関連)
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
自分の力で問題や課題を発見し商品につなげるプロセスの習得を目的とし、各自が自分なりの工夫を考える課題とした。	ユニバーサルデザインに関する資料、情報の提供。	
授業科目 デザイン実技Ⅰ F1, F2		手を動かし、立体に触れることにより三次元の楽しさやデザインの広がり、可能性を感じ取ることができるよう指導、特に感動を味わうことができるよう心がけた。 また、他の学生の作品を全員で評価し、デザインやアイデアには限りなく可能性があることを感じさせた。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
1年生はこれまで立体に触れたことの無い学生がほとんどで、まず立体表現に親しみ、興味を持つことを目標とした。	行程を示すパワーポイントによる講義を実施。	
授業科目 卒業研究		最終学年の最後の作品として、調査から課題の発見、その研究に基づき、製品を開発するまで、プロとして生きていくためのデザインプロセスを体験させた。JIDA 次世代委員会学生卒業訪問参加。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
より広い範囲にその課題を求め、実体験を積み重ねる中で課題を発見するように指導。	あえて、資料を用意せず、各自が自分自身の手で素材を発見することを求めた。	

3. 学会等および社会における主な活動

自動車技術会 デザイン部門委員会	2002年デザイン研究会として発足、2004年より部門委員会に昇格発足時はスズキ代表委員・幹事として、2005年より中立の委員として現在まで活動。	<p>◆活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの源流にたずさわるカーデザイナーが広く自信と存在感を示すための環境作り。 ・未来を担う若年層に向けてカーデザインの意味や重要性を伝えカーデザイナーへの動機付け。 ・日本の自動車産業におけるカーデザインの重要性をアピールし、カーデザイナーの社会的地位の向上。 ・カーデザイナーだからこそ実現可能なユーザーと技術者のパイプ役。 <p>◆活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催 ・デザイン講習会開催 ・技術者との交流会 ・基準統一に関する働きかけ
---------------------	---	--

デザイン DO	2009. 6～2010. 11	<p>◆クリエイティブシティーなごや推進事業実行委員会主催による、隔年で開催される国際デザインコンペ</p> <p>2010年度第7回の企画委員として、2009年度より、そのテーマ、審査委員の決定、運営方法などの検討のため委員会に参加。</p>
1日芸大生	2009. 8. 2	<p>◆小学生のためにデザインの実体験をとおして、その楽しさを理解してもらうイベント。</p> <p>ID コースでは、真空成型の実体験とこれにより出来上がるトレイを使ったゼリー作りを行い、これに講師として参加した。</p>
キッズエンジニア	2009. 8. 21・22	<p>◆自動車技術会の主催による小学生向けのモノづくり体感イベント。このイベントは、自動車など様々な分野の科学技術やモノづくりに興味を持ってもらう体験型学習イベントで、昨年横浜で第1回が開催され人気を集め、今回で第2回。</p> <p>自動車メーカーや業界関係の提供による教室プログラムや展示が、2日間にわたって28件の開催。これに、カーデザイン教室講師として参加。</p>
日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)	2006. 4 入会 2008より幹事	<p>◆中部ブロック幹事として総会、セミナーなどの開催、次世代委員会委員として若手や学生の育成を目的としたイベントの開催</p>